

市長行動記録(令和3年度)

(令和3年4月6日)第7回目となる閑上東地区産業用地への立地に応募いただいた3社と立地協定式を行いました。今回の協定締結により、近い将来、閑上が居住エリアと産業エリアが隣接した職住近接のまちとして発展していくことが期待されます。



(令和3年4月15日)4月6日(火)より始まった春の交通安全運動が最終日を迎え、当日は市長が関係団体の方々と共に名取駅西口に立ち直接市民に交通安全を呼びかけました。



(令和3年4月16日)名取市鳥獣被害対策実施隊委嘱状交付式が行われました。有害鳥獣、特にイノシシによる被害は全国的な問題となっております。市内においても昨年は例年目撃情報のある高館や愛島、植松地区に留まらず、杉ヶ袋地区でのイノシシ目撃情報もあります。このような中、隊員の皆さま方には、農作物被害軽減と市民の安全確保の為に活躍が期待されます。昨年度はイノシシの捕獲が過去最多となる103頭の実績をあげて頂きました。



(令和3年5月15日)令和3年度高館ウォーキングが開催されました。高館公民館主催による、歩いて高館の歴史と自然を学び楽しみながら、体を動かし、心を豊かにする事を目的に開催されました。市長も、参加者28名のみなさんと交流を深めました。



(令和3年5月22日)名取熊野三社歴史ウォーキングが開催されました。名取市歴史民俗資料館職員の解説を聞きながら、熊野那智神社、熊野本宮社、熊野神社を名取民俗資料館開館1周年を記念してのウォーキングイベントで、市民のみなさんと共に市長も巡り交流を深めました。



(令和3年5月29日)令和3年度みどり台中学校区地域交流フリーウォーキング大会が開催されました。これは、名取市のみどり台中学校区である西部4団地に住まう地域住民交流とコロナ禍で減少している外出機会の創出を目的として、3公民館共催で開催したウォーキング大会です。当日は晴天に恵まれ市長も、参加された住民のみなさんと共にさわやかな汗を流し、交流を深めました。



(令和3年5月30日)昨年10月にオープンした閑上の市サイクルスポーツセンターの利用者が、延べ10万人を達成し現地で記念セレモニーが行われました。10万人目となったご家族に市長が花束を贈りました。



(令和3年6月11日)第1回名取市農業委員会、委員辞令交付式並びに総会が開催されました。総会に先立ち、これから3年間委員を努めていただく15名の方に辞令を交付いたしました。委員の皆様には担い手への農地の集積等、農地利用の最適化と地域の課題解決に取り組んでいただける事が期待されます。



(令和3年6月12日)名取トレイルセンター森づくり(植栽)が行われました。これは、みちのくトレイル沿線3県25市町村、地域住民の方々のご協力により、41本献木がなされたものです。市長はゲストのなすびさんと共にエンジュの木(普代村提供)を植樹しました。名取トレイルセンターはオープン以来2年間で、35275人が訪れています。



(令和3年6月18日)避難行動要支援者名簿の取扱いに関する協定締結式が行われました。この協定により、町内会と市が同意登録名簿を共有することで、災害時に自分一人では避難することが困難な方を地域で支える仕組みを構築し、「自分の住んでいる地域は自分たちで守っていく」「共助」を基本とした災害時の情報伝達や安否確認と日頃の見守り活動の推進が期待されます。



(令和3年6月19日)ひまわりプロジェクトinかわまちてらす閑上が開催されました。震災の年から始まった「ひまわりプロジェクト」は、都内をはじめ全国各地の皆様が育んだひまわりの苗を閑上の地に花開かせることで、首都圏と被災地の人々が繋がり新しい絆が生まれ「あの日を忘れない、改めて震災の事を考え直す」機会になっています。



(令和3年6月21日)東京2020オリンピック聖火リレーが本市閣上で行われました。ギリシャのオリンピアで採火された聖火が、全国各地のランナー達の想いと共に引き継がれ、無事に名取市に迎えることが出来ました。当日は閣上小中学校を会場に聖火リレーミニセレブレーションも同時に開催されました。

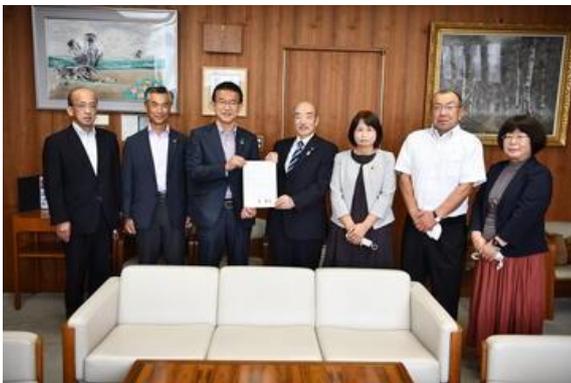


(令和3年6月25日)令和3年度名取市優良工事表彰式が行われました。今回受賞された企業は、(株)ワタケン様、グリーン企画建設(株)様です。この賞は、市内の建設関連企業が市発注の工事を施工するに当たり、管理や技術力の向上に対する意識を高め、工事の品質を確保することが目的で、今年度で11回目になります。





(令和3年7月1日)第71回社会を明るくする運動が行われました。この運動は、すべての国民が、犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場においても力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。市長は、名取駅東口に立ち関係団体の方々と共に直接市民に運動の大切さを呼びかけました。



(令和3年7月7日)ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社仙台工場様より飲料水をご提供頂きました。これは、新型コロナウイルスワクチン接種関係者へ、これから暑くなる季節となることから、熱中症対策として役立ててほしいと市へ提供いただいたものです。市では、名取市体育館で行っている新型コロナウイルスワクチン接種に従事している医療関係者の熱中症予防対策として活用させていただきます。





(令和3年7月20日) 関上魚市場を会場にサッポロビール(株)様より関上地区の水産業振興のために、魚市場で使用する、スカイタンク2台・パレット50枚の購入費をご寄贈いただきました。サッポロビール(株)様には、名取市の誘致企業として、これまでも名取市のために数多くの社会貢献をいただいております。



(令和3年7月29日) 東北復興宇宙ミッション名取市記念品「ギバナコスモスの種」返還式が行われました。東北復興宇宙ミッションは、東日本大震災から10年の節目に、東北の復興の姿とこれまでの支援への感謝の気持ちを宇宙から全世界に発信する事業で、名取市も参加しています。去る3月に、国際宇宙ステーションで撮影された野口宇宙飛行士からの感謝のメッセージ動画が公開されたほか、東北の被災自治体から集められた植物の種などの記念品も国際宇宙ステーションに送られ、宇宙をフライト後、無事地球に帰還しました。ギバナコスモスは、宮城県農業高等学校の生徒さんが毎年「東北・みやぎ復興マラソン」の沿道に復興のシンボルとして植え、ランナーを応援している花です。





(令和3年8月5日) 県内2基目の商用水素ステーション(仙台空港)の開所式が行われました。宮城県では水素社会の実現に向けて、燃料電池自動車(FCV)の普及とともに水素ステーションの整備が推進されて来ました。県内では、宮城野区幸町に次いで2基目となります。市長は関係者の方々とともにテープカットを行い開所を祝いました。



(令和3年8月6日) 閑上東地区産業用地で新たに民間企業2社と企業立地協定を結びました。今回協定を結んだのは、電気工事業の有限会社創進電建様・金属製品製造業の株式会社エスピー・クリエーション様です。閑上東地区産業用地は、水産業10社と合わせて36社となります。



(令和3年8月7日)令和2年5月31日にオープンした名取市歴史民俗資料館の来館者が延べ1万人を達成し、現地で記念セレモニーが行われました。1万人目となったご家族に市長が花束を贈りました。



(令和3年8月25日)令和3年度仙台せり初出荷式が2出荷組合で行われました。宮城県は日本一のせり生産県で、名取市が8割を占めています。名取市で生産されている芹は「仙台せり」というブランドで、JA 名取岩沼には上余田(かみようでん)芹出荷組合と下余田(しもようでん)芹出荷組合の二つの出荷組合があり、東北を中心に全国各地の市場へ出荷されています。市長は両出荷組合に初出荷のお祝いに駆けつけました。



(令和3年8月26日)「SDGsかるた」の寄贈を受けました。JA名取岩沼様よりSDGsかるた50個を寄贈いただくにあたり、名取市役所にてその寄贈式が執り行われました。これは、JAグループのSDGsへの取り組みの一つとしてJA全国女性組織協議会が中心となり、子供達が楽しみながらSDGsを学べるようにかるたを作製されたものです。名取市では、市内の児童館に配布し、子供達に楽しく使ってもらうことにしています。



(令和3年9月27日)秋の交通安全運動に伴い、市民に交通安全を呼び掛けました。この運動は、国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、国民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進する事により、交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。この日は、市長が関係団体の方々と共に名取駅西口に立ち直接市民に交通安全を呼びかけました。



(令和3年9月29日)宮城第一信用金庫名取支店様より、宮城第一信用金庫創立70周年を記念して名取市に対して、新型コロナウイルス感染症対策等に役立ててほしいとのお気持ちからマスクケース1400セット(1セット5枚入り)と現金70万円の寄附を頂きました。



(令和3年9月29日)株式会社ダイナム様より、名取市の地方創生事業である「なとり子どもファンド」へ企業版ふるさと納税制度を活用した現金50万円の寄附を頂きました。「なとり子どもファンド」は、名取の未来を担う子ども達を対象として、子どもの視点で提案し、子ども達が審査・採決した子ども達のまちづくり活動を応援する事業です。



(令和3年10月1日)名取市文化会館にて、「令和3年名取市市制施行記念式典」が開催されました。今年の表彰者数は、市政功労者表彰16名3団体・元気高齢者表彰25名・スポーツ賞顕彰17名3団体の方々を受賞されました。本当におめでとうございます。



(令和3年10月2日)令和3年度名取市総合防災訓練が増田中学校を会場に行われました。前日までの雨の影響もありグラウンドコンディション不良の為、予定を変更し体育館にて避難所体験訓練と応急手当講習が行われました。自助・共助・公助による訓練を実施することにより、防災体制の確立と防災意識の高揚を図ることを目的として実施しました。



(令和3年10月3日)小泉進次郎環境大臣が名取トレイルセンターに来訪され、施設内や新しくオープン予定のキャンプ場を視察しました。また、宮城県農業高等学校が交配した桜の新品種「玉夢桜」が同施設に植えられており、これは環境大臣賞を受賞したことから、宮城県農業高等学校の生徒さんより生育の説明と御礼の言葉がおくられました。



(令和3年10月6日)東北・みやぎオンライン復興マラソンを盛り上げるテレビ番組の収録が行われました。このマラソンは、被災地の復興に寄与することを目的に2017年から始まりました。また、オンラインマラソンとは、GPS機能付きのスマートフォンアプリなどを使用して走行距離やタイムを計測するマラソン大会です。当日は名取市役所正面玄関前にて、仙台放送で毎週土曜日11時25分から放送している「永野の～、わっしょ！！」の番組の中で、レッドガオ、ハーフマラソンに挑戦して復興マラソンをPRという企画があり、市長はスタートの号砲を行いました。



(令和3年10月7日)「小松菜・チンゲン菜の美味！減塩料理」コンテスト表彰式が行われました。今回の減塩料理コンテストは、血管を守るために「減塩で野菜を食べる」ことも併せて普及する事で、市民全体に名取市特産の野菜の摂取向上と減塩の取り組みへの意義を高めることを目的に実施されました。計76作品もの応募を頂き、18名の皆さまが入賞されました。大変おめでとうございます。



(令和3年10月8日)令和3年全国地域安全運動の出動式がありました。10月11日から20日までの10日間、犯罪のない安全で安心して暮らせる地域社会の実現を図ることを目的として、全国地域安全運動が実施されます。当日は岩沼警察署を会場に出動式が行われ市長は関係団体の方々と共に参加しました。



(令和3年10月26日)かわまちてらす閉上において、ゆうパック「名取せり鍋きずな便」の出発式が行われました。せり鍋を全国の皆さんにご賞味いただき、心も体も温まっていただければと思います。



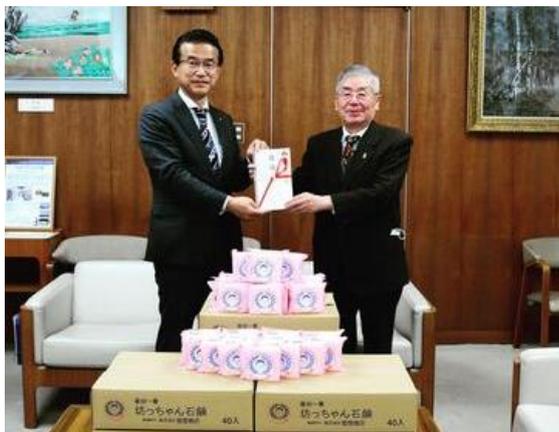
(令和3年10月31日)名取市文化会館において、「なとり環境フェスタ」が開催され、名取市ゼロカーボンシティ宣言を行いました。当日は、国立大学法人 東京海洋大学名誉博士・客員准教授さかなクンを講師に、会場の皆さまとクイズを交えた楽しく勉強になる講演や環境保全・SDGsの活動の展示や水素を燃料にした自動車の展示を行いました。



(令和3年11月16日) 関上東地区産業用地で新たに民間企業2社と企業立地協定を結びました。今回協定を結んだのは、株式会社仙杜様と有限会社ティエムサービス様です。関上東地区産業用地は、水産業10社と合わせて37社となります。



(令和3年11月29日)株式会社 畑惣商店名取工場様(愛島台)より、子どもたちのインフルエンザ対策などに役立てて欲しいと「坊ちゃん石鹸」480個を提供頂きました。提供された石鹸は、市内小中学校や保育所等へ配布されます。今回で畑惣商店からの提供は13回目となります。



(令和3年11月29日)有限会社増田タクシー様と名取市は、ママサポートタクシーに関する協定を締結しました。ママサポートタクシーは、自宅や出産予定の病院をタクシー会社に事前登録することで、陣痛などの緊急時にスムーズな送迎を可能にするサービスで、助産師の講習を受けた乗務員が担当します。また、出産後も乳児健診などでも利用ができます。



(令和3年11月30日)令和3年11月1日～11月2日に秋田県武道館で行われた、第56回全国高等専門学校体育大会柔道競技において仙台高専名取キャンパス校柔道部様が、見事団体優勝されその報告に来ていただきました。この快挙は10年ぶり3度目の全国制覇となるとのことです。また、個人戦でも数多くの入賞者がおり、女子48kg級では、佐々木未来さん(名取二中卒)が1年生ながら見事日本一に輝きました。今後とも文武両道での活躍をお祈りいたします。



(令和3年12月15日)名取市名取が丘地内市有財産(名取団地跡地)について渋谷商事株式会社様と、名取市愛島郷地内市有財産(愛島東部仮設住宅跡地)について株式会社 細田工務店様と売買契約に係る契約締結式を行いました。市内のさらなる活性化が図られると大いに期待しております。



(令和3年12月16日)平成30年11月から工事に着手しておりました市道熊野堂柳生線が開通しました。この道路は、昭和60年から事業に着手し、全延長 3,770m のうち未整備となっていた仙台市太白区柳生地区側の 780m が完成したものです。道路開通により、県道仙台館腰線や、JR南仙台駅へのアクセス向上のほか、周辺道路の渋滞緩和が期待されます。



(令和3年12月22日)名取岩沼農業協同組合様より母子健康手帳ケース(650個)を寄贈いただくにあたり、名取市役所にてその寄贈式が執り行われました。これは、地域住民への子育て支援活動の一環で、子どもの誕生を祝い、安心して子育てができる環境支援を目的に寄贈されたものです。市では、今後、母子健康手帳交付時に妊婦の方々へ配布させていただきます。



(令和3年12月23日)令和3年度『かわまち大賞』を受賞しました。『かわまち大賞』は、全国で進められている「かわまちづくり」の中から、他の模範となる先進的な取組を、国土交通大臣が表彰するものです。4回目となる今年度は、有識者による審査委員会で審査を経て、名取市の『閑上地区かわまちづくり(名取川水系名取川)』の取組が大賞として決定され、国土交通大臣より直接表彰状と盾を頂きました。今回の受賞をきっかけとして、魅力を全国に発信して更なる賑わいの創出を目指して取り組みを進めて参ります。



(令和3年12月24日)名取市高館浄水場の「第三者委託」導入に向けて、公募型プロポーザルを実施し事業者を募集してまいりましたが、今回、水 ingAM、名取市管工事業協同組合、産電工業特定共同企業体と委託契約を締結しました。今回の契約により、安全・安心で持続可能な水道事業の基盤強化が期待されます。





(令和4年1月9日)名取市民体育館駐車場で名取市消防出初め式が行われました。今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、観閲行進や消防団による水防訓練、放水訓練を行わず 規模を縮小しての開催となりましたが、市民の生命財産を守る消防関係者の皆様の弛まぬ精進とご努力に感謝と御礼を申し上げます。

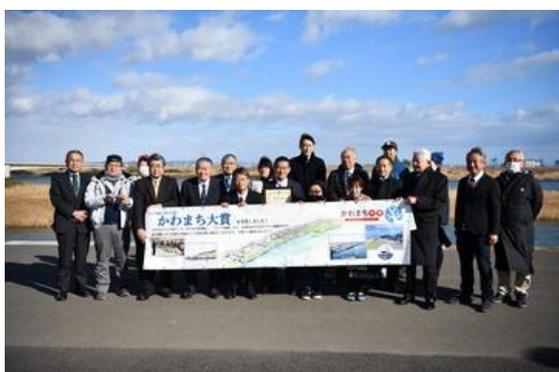


(令和4年1月9日)名取市文化会館にて、名取市成人式が行われました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、検温消毒を徹底し、式典では、山田市長から激励の言葉やカーネーションの花束贈呈、新成人代表による誓いの言葉などが行われました。また、都合により参加できない新成人者向けに YouTube によるライブ配信を行いました。今年の名取市を担う新成人は807人です。おめでとうございます。





(令和4年1月15日)かわまちてらす閉上で、かわまち大賞受賞お披露目会が行われました。令和3年12月23日に国土交通大臣よりいただいた賞状や盾をお披露目し、みんなで受賞の喜びを分かち合いました。また記念の横断幕を作成し、かわまちてらす閉上や名取駅、名取市役所に掲示します。今回の受賞をきっかけとして、魅力を全国に発信して更なる賑わいの創出を目指して取り組みを進めて参ります。



(令和4年1月21日)リネットジャパンリサイクル株式会社様と使用済小型家電の再資源化に向けた協定書の取り交わしを行いました。名取市では、「小型家電リサイクル法」の認定事業者である「リネットジャパンリサイクル株式会社」様と協定を締結し、家庭で不要になったパソコン等の宅配便による無料回収を1月21日よりスタートします。ごみ減量やリサイクル促進に加え、不法投棄対策にも期待されます。



(令和4年2月9日) 名取市文化会館大ホールホワイエにて、楽天イーグルス「がんばろう東北」企画記念楽天イーグルスロゴ入りベースセットの寄贈式が行われました。当日は楽天野球団マスコットキャラクター スイッチくん、名取市のマスコットキャラクター カーナくん参加もありました。今回の寄贈は、東日本大震災を風化させず、東北から元気を発信するために楽天野球団様が始められた「がんばろう東北」シリーズの企画です。寄贈されたベースセットは、市民球場で使用する予定です。



(令和4年2月16日) 明治安田生命保険相互会社様 と包括連携協定を締結しました。この協定は、市民の健康増進や地域活性化を目的に、包括連携協定を締結するもので、市民の安全安心につながる事が期待されます。



(令和4年2月18日) 市民課窓口においてセルフレジを導入しました。セルフレジを導入したことにより 手数料の受け渡しなどで直接人の手が触れることがなくなり、新型コロナウイルスなど感染防止にも役立つことが期待されます。今後も「安心・安全・便利」で、そして人にやさしい窓口を目指してまいります。



(令和4年3月3日) 平成31年4月に、イオンモール名取あおばコート3階にオープンした、名取市子育て支援拠点施設「cocoII(ここいる)」が来館者が5万人に到達しました。cocoII(ここいる)は、「“ここ”に行けば誰かがいる」をキャッチフレーズに、子どもの遊び場としてだけではなく、「親子が育ちあう場」、「気軽に子育ての相談ができる場」、「子育ての情報交換ができる場」として育てていきたいと考えています。これからも子育ての悩みや不安を抱えるご家庭に寄り添いながら安心できる居場所としてまた、交流の場としてこれからも多くの方々にお気軽にご利用いただけたら幸いです。



(令和4年3月11日) 名取市役所市民ホール及び閑上の震災メモリアル公園にて「東日本大震災名取市追悼献花」が行われました。今年度からは自由献花とし、多くの方々より献花をいただきました。閑上の慰霊碑にて2時46分の黙祷の後、山田市長、宮城県知事、市議会議長より献花をし、追悼の言葉を述べました。



(令和4年3月12日)名取市文化会館小ホールで「未来のまちへチャレンジ！ 2021(ニ-ゼロ-イーイチ)なとりこどもファンド」活動発表会が開催されました。この「なとりこどもファンド」は、市内在住または市内に通学している、18才以下の子ども3人以上のグループが行うまちづくり活動に対して、最大で10万円の助成を行うものです。コロナ禍で外出自粛が求められる中、名取の名所を紹介するアルバムや、市内飲食店を応援するための紹介マップの作成、地域の魅力を発信するフリーペーパーの作成、地域のすごろくを作って交流会を開催したグループなど、子ども達の夢や豊かなアイデアや成果が発表されました。



(令和4年3月22日)愛島西部工業団地で操業開始10年を迎えた企業2社に地域定着企業表彰の楯を贈呈しました。贈呈されたのは、社株式会社ウッベル様と株式会社東栄科学産業様です。今後も産業振興にご貢献をお願いします。



(令和4年3月29日)津波対策用救命胴衣が寄贈されました。震災復興支援グループ「きぼう」様より津波対策用救命胴衣を寄贈されました。津波災害時に市民や災害対応職員の身の安全を守る為、有効活用致します。

